

名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備等事業説明



LifeSports- Our Own Park
スポーツをもっと自由に、楽しく、みんなのものに

令和5年12月

発注者 名古屋市スポーツ市民局

事業者 株式会社瑞穂LOOP-PFI



©瑞穂LOOP-PFI ※画像はイメージです

LifeSports- Our Own Park

スポーツをもっと自由に、楽しく、みんなのものに

スポーツを、あたらしくしよう。
大人も子どもも誰もが楽しめる、すべての人に開かれたものへ。

公園を、あたらしくしよう。
こころもからだも元気になる、暮らしを豊かにする場所へ。

瑞穂公園の多様な価値を再編集し、スポーツをもっと自由に、楽しく、みんなのものにする、瑞穂LOOP。
「LifeSports-Our Own Park」をコンセプトに、
「観る」「競う」から「遊ぶ」「リフレッシュ」までスポーツのスタイルを多彩に広げ、
日常のとなりで、こころとからだに活力や安らぎを生み出す公園として生まれ変わります。

まちと公園とシームレスにつながる新しいランドマーク、新・陸上競技場は陸上競技はもとより
サッカープロリーグなど様々な競技大会を開催し熱狂と感動を生み出すとともに、
平常時は市民に開放された運動と憩いのスペースにもなります。
また、からだを動かす喜びを広げる様々な広場、四季を楽しみながら歩く緑陰広場、
子どもたちの想像力を刺激して遊びを作り出せるスペース、人が主役の共創空間が生まれます。

ここに来ると、自然にからだが弾む。訪れるたび、こころが整う。
日常とスポーツ、暮らしと公園、感動と憩い、人と人が垣根なくループのようにつながり、
いきいきと生きる輝きを広げていく。
瑞穂LOOPから、こころ・からだ・暮らしを豊かに、まちを元気にする、
あたらしいライフスポーツの輪を広げます。

1：建物整備

設計：2021(令和3)年7月～2023(令和5)年3月

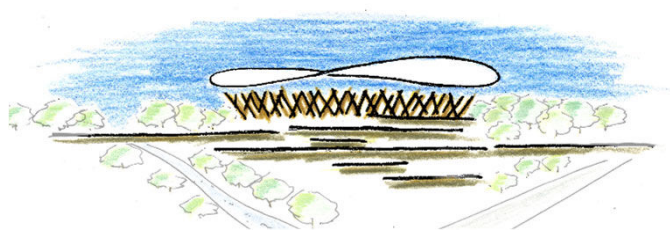
建設工事：2023(令和5)年4月～2026(令和8)年3月(予定)

構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
観客席	約30,000席
建築面積	約28,600㎡
延床面積	約61,500㎡
階層	地上6階
高さ	約31m

公園に溶け込みながら名古屋の魅力を発信する「空」と「森」と「大地」の陸上競技場

伸びやかな空の下に広がる住宅地の陸上競技場として、土地の風景と調和し、地域の象徴となる姿を目指します。

「雲」のような屋根、「森」のような外装、「大地」のような段丘状のデッキにより、この場所に相応しい自然や公園と一体となった外観デザインとします。



- 「空」… 瑞穂公園の空に浮かぶ雲のような屋根
- 「森」… 周囲の豊かな木立に溶け込む森のような外装
- 「大地」… 公園と連続して伸びやかに広がる段丘状のデッキ



2：公園整備

設計：2021(令和3)年7月～2023(令和5)年3月

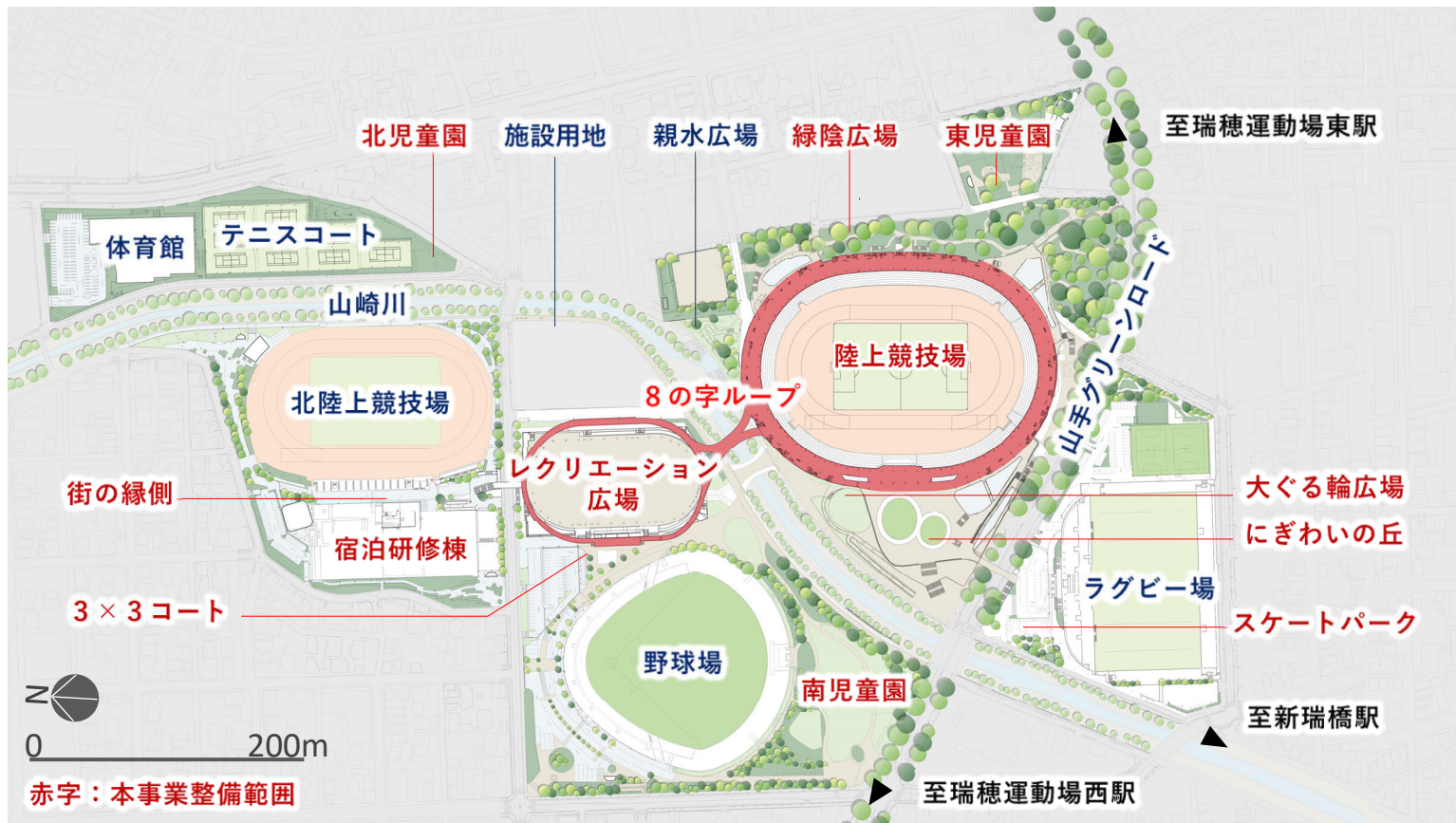
建設工事：2023(令和5)年4月～2025(令和7)年9月(予定)

工事内容：広場、園路、植栽、休憩施設、遊戯施設、道路(陸上競技場東側)の整備

公園・まちを巡る「8の字ループ」を中心とした、市民が主役の場づくり

陸上競技場の3階コンコースとレクリエーション広場の外周デッキが、フラットな8の字の回遊路を形成し、公園全体の魅力的な場を繋いでいきます。

地域の皆さんの意見をもとに生まれ変わる3つの児童園、これまで通り気軽なスポーツの場として活用できるレクリエーション広場、陸上競技場西側で新たな活動の場となるにぎわいの丘、ラグビー場前に新設するアーバンスポーツエリア、新しい活用方法を利用者とともに考える宿泊研修棟など設計段階から運営開始後も利用者の意見をいただきながら、利用者が主役となる公園を目指します。



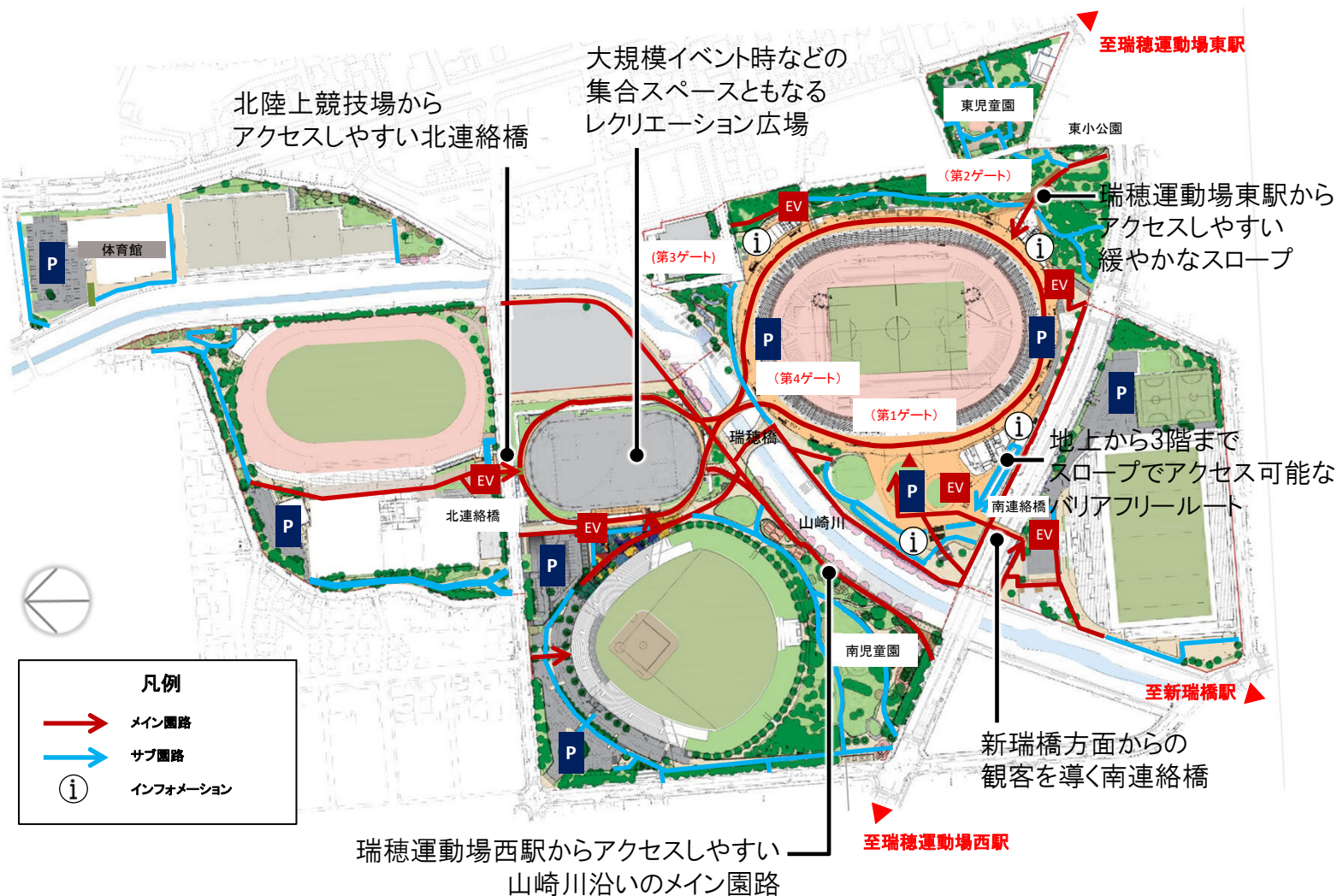
3：アクセス

大規模スポーツイベント開催時にも公園の日常利用を妨げない 8の字ループを中心とした各方面からのスムーズな観客動線計画

- ・ 瑞穂運動場西駅からの来園者は、分かりやすい位置にスロープや階段、エレベーターでアクセスできる計画とします。また、山崎川沿いを通り、8の字ループを経由し、陸上競技場へのアクセスも計画します。
- ・ 瑞穂運動場東駅からの来園者は東小公園から緩やかなスロープを経由し、陸上競技場へのアクセスを計画します。
- ・ 新瑞橋駅からの来場者は、南連絡橋を経由し、陸上競技場へのアクセスを計画します。
- ・ 大規模スポーツイベント時の陸上競技場来場者のスムーズなアクセスに配慮して、各ゲートにインフォメーションを配置します。



南連絡橋からのアクセスルート



4：公園とシームレスな活動空間となる陸上競技場

平常時は市民に開放される8の字ループ(陸上競技場3階コンコース)

- ・大規模スポーツイベントが開催されていない平常時は、陸上競技場コンコースを公園と同様に、だれでも利用することができるように開放します。
- ・レクリエーション広場周辺に新設される外周デッキと合わせて約1kmの8の字ループは、安全で快適なランニング・ウォーキングコースとなります。
- 幅員の広い3階コンコースは気軽に立ち寄れる散歩道や休憩場所としての利用が可能です。
- ・陸上競技場西側のにぎわいの丘にランニングステーションを新設します。
- ランニングステーションには更衣室やシャワーが設置されるので、通勤時など気軽に利用が可能です。
- ・8の字ループを中心に様々な場を整備し、公園全体をLifeSportsの場とします。



安全で快適なランニング・ウォーキングコースとなる約1kmの8の字ループ



陸上競技場西側のにぎわいの丘

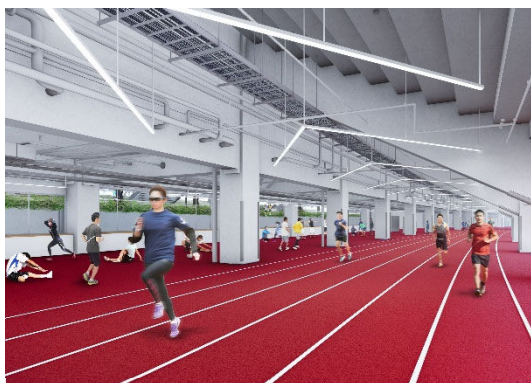


5：市民も利用できる陸上競技場

- ・アジア・アジアパラ競技大会のメイン会場となる約3万席の全席屋根付きの陸上競技場です。
- ・スポーツイベントが開催されない期間は、トラックや室内練習路を使った講座を計画しています。トップレベルの国際基準トラックが体験できます。
- ・フィールドの天然芝でヨガ教室などのイベントの開催も計画しており、普段入ることのできない開放的な空間で、運動を楽しむことができます。



陸上トラックや室内練習走路でスポーツ講座を開催(イメージ)



天然芝で身体を動かすプログラムも計画(イメージ)



6：市民と共に、育て、学び、活かす公園

- ・公園各所でスポーツや自然に関連する教室など多彩なアクティビティを開催します。
- ・スポーツと「健幸」をテーマにした飲食店舗等が集まる「LOOPマーケット」を開催します。
- ・史跡・遺跡を知り、触れ合うことのできる「大ぐる輪広場」を整備します。
- ・山手グリーンロードに面して民間収益施設を計画し、瑞穂公園の利用促進に貢献します。
- ・レクリエーション広場の周辺などで、市民と共に育む花壇を設置します。
- ・レクリエーション広場は既存の防球ネットの機能を継承し、これまでと同様に利用できます。
- ・公園全体を活用した市民が集う『瑞穂公園感謝デー(仮)』を開催します。



公園内各所で多彩なアクティビティを開催(イメージ)

スポーツと健幸をテーマにした「LOOPマーケット」を開催(イメージ)



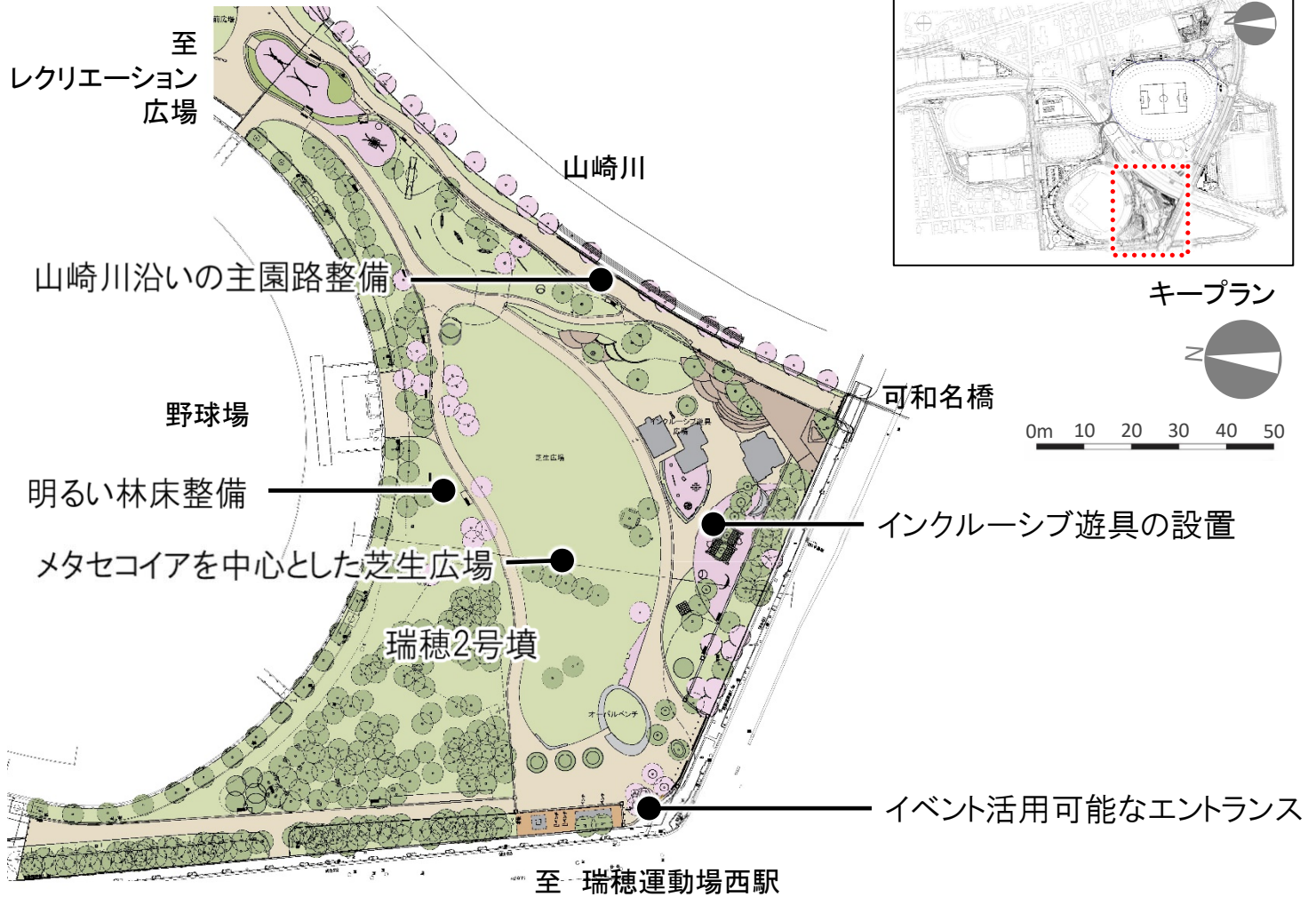
陸上競技場と一体化利用可能なにぎわい施設



大曲輪貝塚を中心に遺跡を身近に感じる「大ぐる輪広場」



7：既存樹木を活かす南児童園



- ・エントランスは現存するパーゴラなどを活かし、公園の顔として人が集える場を整備します。キッチンカーなどが乗り入れ、イベント活用することも可能な広場とします。
- ・山崎川沿いの道路は主園路として整備し、既存の山崎川と一体的な空間とすることで、川に親しみのをもてる公園とします。

- ・中央部の5本のメタセコイアを中心に芝生広場を整備します。
- ・明るい林床空間として、野球場南側や山崎川沿い樹林帯における視認性や、暗い場所の改善のために低木の整備を行い、より緑に親しむことができる公園として整備します。



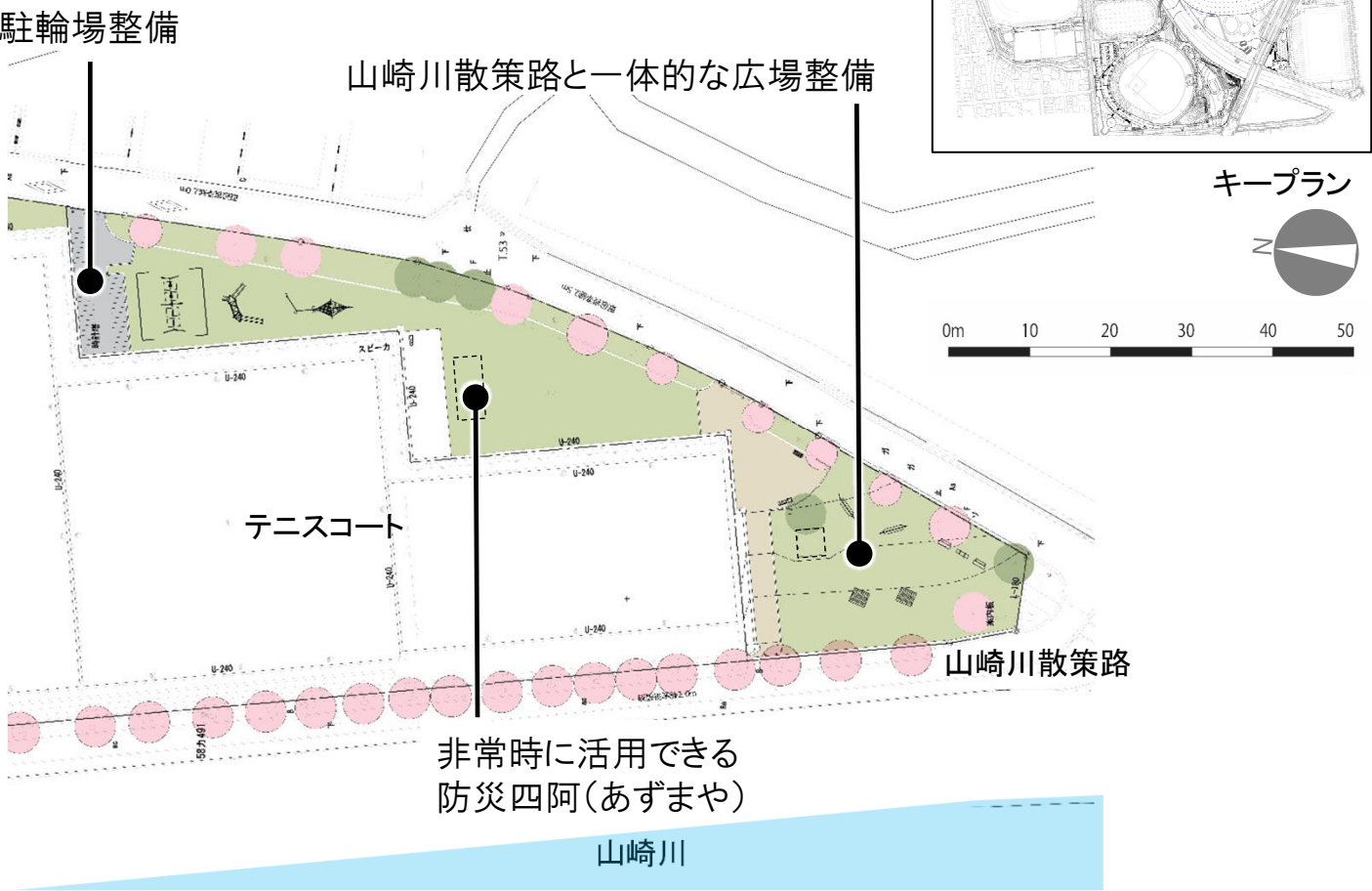
8：斜面を活用する東児童園



- ・公園全体を広く遊ぶことができる場所とするため、斜面地を含めた遊具整備を行います。
- ・斜面を活用し高低差を活かした冒険遊びの場を創出します。
- ・明るい林床を整備します。



9：山崎川散策路に開けた北児童園



山崎川沿いを散策する利用者が気軽に立ち寄ることが可能な空間として整備します。

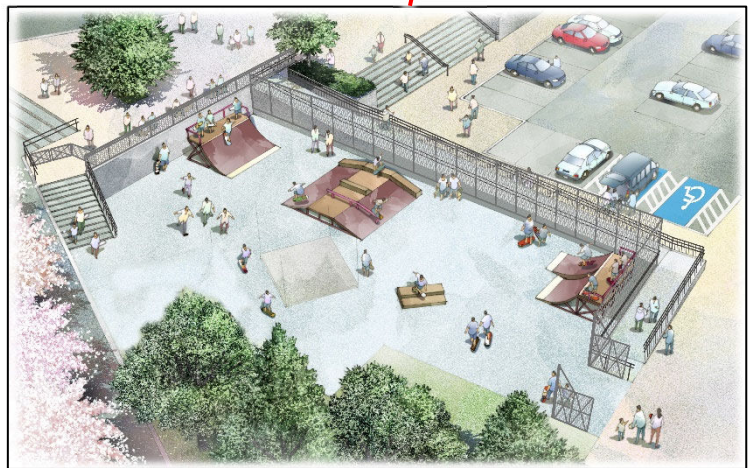


10：アーバンスポーツエリアの整備

「スケートボード」、「3×3バスケットボール」を身近に楽しめるエリアとしてアーバンスポーツエリアの整備を行います。



- ・陸上練習走路があるエリア一体を、体を動かすエリアとして整備します。
- ・3×3バスケットボールは、ハーフコートサイズの規模で整備し、ボールの飛び出しがないように外周部にフェンスを設置し、夜間は施錠します。



- ・初心者向けのスケートボードエリアを整備します。
- ・外周部にフェンスを設置し、夜間は施錠します。

11：みどりの整備計画

公園全体として、安全で明るいみどりの整備を行います



- ・陸上競技場や野球場の周りを緑化することで公園内のみどりが連続的に繋がる整備を行います。
- ・樹木健全度調査等をもとにみどりの適正化を行い、持続可能で明るく安全な樹林を形成します。
- ・山崎川沿いのサクラ並木景観の連続性を補完するよう、サクラの新植を行います。
- ・緑地をつないで生物の移動を可能にする公園内生態系ネットワークづくりを行います。



四季を楽しみながら歩く緑陰広場

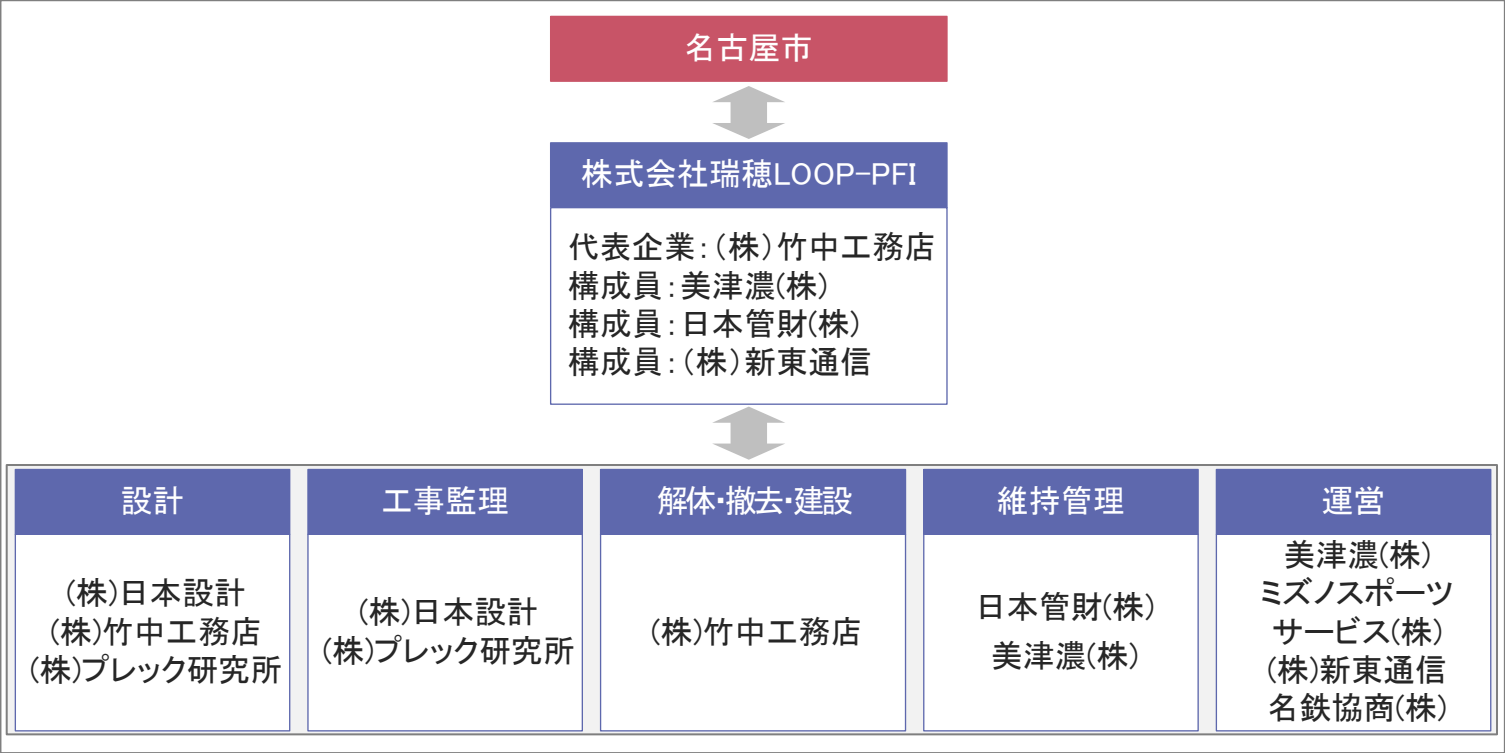


メタセコイアを中心とした芝生広場(南児童園)



臨時駐車場の緑化

事業者体制図



事業期間 2021(令和3)年7月～2041(令和23)年3月

※当事業概要説明書に掲載の画像の著作権は、株式会社瑞穂LOOP-PFI（SPC）に帰属します。無断転載は禁止させていただきます。